

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス) 令和7年12月現在

○事業所名	放課後等デイサービスほっぷ・すてっぷ		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日 ～ 2025年12月26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2025年12月10日 ～ 2025年12月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・時間割に沿った活動の切り替えを利用児童全体の動きとして行え、学校を基準とした集団生活に順応出来るよう細やかな支援が出来る。	・事前の声掛けや、図示による説明、繰り返しの実施を行う。 ・個々の特性や状況に応じて相談し、折り合いをつけて、一人ひとりが集団活動に参加出来るよう支援する。	・個別の声掛けの調整や、時には状況を変える事により、変化の中でも指示にしたがって行動出来るようにしていく。
2	・利用児童が楽しく過ごす事が出来る。	・利用児童の気持ちに寄り添い、安心して過ごせるようにやり取りを行う中で、色々な活動や遊びを通して楽しめるように関わりを行う。	・個々の好みやニーズを調査しながら、時にはスタッフと、時には他の利用児童とも楽しく関わる事が出来るように仲介を行い、新たな経験に繋がるように、色々な活動や遊びの提案を行う。
3	・学習の取り組みを個別にサポートし、個々の状況に応じた課題の達成を支援出来る。	・現在、学校からの宿題や、持参した課題の取り組みについて、まずは取り組みの様子を見守り、得意な部分、苦手な部分の確認を行い、利用児童本人や保護者と相談の上、その都度、補助を行う。	・利用児童ごとの学習内容について、職員間で情報を共有し、どのスタッフもサポートに入れるような体制を整え、学校の宿題の他、WISC等の検査結果に伴う適切な説明や、教材の提供を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・日々の活動内容や普段の利用の際の様子等が保護者へ細かく伝える事が出来ていない状況である。	・送迎の有無により、保護者の方々との会話は中々ゆっくりとは行いにくい状況であり、特に、活動の合間や、送迎の途中であると、スタッフの手も回しにくくなっている。	・定期的な面談の際には、日々の記録をもとに丁寧に様子を伝えと共に、スタッフも、その日の活動内容や頑張った事を一言でも伝える事が出来るように意識する。
2	・指導教室は一室にまとまっており、全ての利用児童が、一緒に過ごす事となっている為、時間帯やその日の利用予約によっては、利用児童間の学年差が大きく開く事がある。	・学年や好み等も違う為、各々が好きな事をするには、場面によってはある程度の制約の中で、遊んだり、過ごしたりする必要がある。	・日頃から、各個人とのコミュニケーションを重ね、やりたい事や気持ちを尊重しつつ、みんなが楽しく過ごせるように、間を取り持ちつつ、安全に過ごせるように支援する。
3	・現在、避難訓練を行う時期や曜日の偏り、実施日数の関係で、全ての利用児童が訓練を経験していない状況である。	・一週間の間に複数日利用する児童もいる為、同じ内容の訓練を続けて行いにいく、実施する時期についても、ある程度の期間を開けて行っている。	・今後の訓練については、実施の形態に変化をつけ、内容の違う各訓練をまんべんなく行えるように、訓練日の調整や、数日間通して行う訓練も考案していく。